

2018年4月

卒業式も終わり、入園、入学式、入社式と新しい門出のシーズンになりました。
この門出のシーズンにふさわしく、さくらの花が、野や山、川辺で咲き乱れています。

松浦 弥太郎 著 「あたらしい あたりまえ」のはじめに、次のような文章が載っています。

毎日の仕事と暮らしを、つつましくも常に新しくありたいと思っています。
あたらしいというのは、はつらつとした初々しさが、びかびかした鮮度があり、やさしいやわらかさがある、ということです。

仕事と暮らしにおいて、私たちが社会と分かち合うべきことは、自分が発見したり、工夫したり、気がついたりした、あたらしさなのです。 あたらしいあたりまえを見つけるために必要なことは、自分の仕事と暮らしに深い興味を持つこと。そしてそれらを愛情をこめて手入れすること。どんなことにも勇気を表すこと大切です。

この文章に背中を押されたわけでもないのですが、ホームページの写真に出ていますように、店舗の庭側の側面が倉庫のような感じで、売り場として機能していないので、2月頃より従業員と意見を持ち寄り、棚と庭の部分を3月後半～4月の半ばにかけて手を入れて、完成予定です。

陶器の器を置いた棚は、オイルステンを塗りました。

プロの指導を仰ぎ、ざらざらしていた木の表面を100番の紙やすりで丁寧にこすり、オイルステンを2度塗りし、ついでにログハウス風の壁面も剥げているところが気になり、ここも紙やすりでこすり、出来るだけ上の部分からお化粧のし直し。

5人がかりで、丸1日。見違えるように落ち着いた雰囲気仕上がり、倉庫になって隠れていた商品を、翌日早速お買いあげ頂き、新しい商品も加え、陳列台としての見映えもよし、見せ方、置き方、方等々良い勉強になりました。

もう1件、学校へ花のボランティアで、毎週土曜日に行っていることは以前にも書かせていただきましたが、その花ボラに従事していただいている仲間が病気などで2人減りました。

花ボラの増員対策として、この4月より11月まで月に一回、園芸の基礎について講習会を開きます、4月は用土についてです。

このように講習会を開き学校へ足を運んでいただき、花ボラに自然と参加していただけるとともに、少しでも交友の場が広がればと、企画しました。

思いつきを行動に移し、学校も協力していただき、中学生が作ったとは思えない素晴らしい募集ポスターが出来上がりました。

このように前向きに取り組んではきたものの、忙しかったり、体調が万全でなかったりすると、余計な事をしなければよかったという気がするときもあるのですが、それ以上

に、どのような方に参加していただけるのかという興味と、もう一度、勉強しなおすいい機会と思いい心を引き締めております。

2018年3月30日 西井 忠義